

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 6月 21日			
所属学部・研究科	工学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学リノ校 IELC (国名:アメリカ)			
所属学部・学科等名	Intensive English Language Center			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27年 8月 20日 ~ 平成 28年 5月 6日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: F1			
	ビザ申請先: 米国大使館(大阪)			
	取得方法, 提出書類: パスポート、I-20、面接予約証明書、SEVIS 支払い証明書など			
	手続きに要した日数: 1週間程度			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27年 8月 18日			
経路	KIX→ICN→SEA→RNO			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	20,21日に校内やIELCプログラムに関する説明			
帰国年月日	平成 28年 5月 20日			
経路	RNO→SFO→ICN→KIX			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1,330,000	円	
	内訳	渡航費	180,000	円
		保険料	110,000	円
		教科書代(学費)	40,000	円
		宿舍費	500,000	円
		食費	250,000	円
		その他 (旅費)	250,000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
年 学期	8月 24日 ~	12月 8日		

年 学期	1 月 18 日 ~ 5 月 3 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	Reading/Writing, Listening/Speaking, Integrated Skills
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業を楽しんでください
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (シェアハウス)
住居の広さ	二階建ての一軒家 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (9人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 320+光熱費 (US ドル) 約 48,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	クラスメイトなどの意見を踏まえて、寮よりはアパートやシェアハウスに住むことをお勧めします。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> つけた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
つけた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 11 万円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	留学先大学から事前に渡されていた書類に記載されてあるものを受けた。 専門用語で英語の解説が難しい場合は病院で医師に見てもらおうとよい。
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水や生卵など、日本では気にせず摂取しているものも危険な場合があるので気を付ける。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学または就職	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
存分に留学生活を楽しんでください。		

2.学習の概要に関するレポート

ネバダ大学リノ校 Intensive English Language Center (IELC) では、初めのオリエンテーションでクラス分けのテストを受けました。Reading, Writing, Listening, Speaking のテストを受け、その結果から HA(High Advanced class), LA(Low Advanced class), HI(High Intensive class), LI(Low Intensive class)の4つのクラスに分かれました。英語教育を受けたことのある学生はほとんど全員 LA または HI クラスに配属されるようでした。基本的には、1 学期間同じクラスで勉強しますが、学期の初めに配属されたクラスが適切であったかを確認するテストがあり、そこであまりにも高得点を取ったり点数が低かった場合はほかのクラスに移動することもありました。また、中間テストもあり、そこで高得点を取れば 1 つ上のクラスに移動することもありました。期末テストでは、学期の初めに受けたテストと全く同じ問題をして能力の向上を測り、ここであまりにも低い点数を取らない限りは、次の学期で 1 つ上のクラスを受けることができました。他に、HA クラスの生徒は二つまで学部の授業を取ることができましたが、取得できる単位ごとに追加で授業料を払わなくてはなりませんでした。

HA～LI クラスには、大きく分けて三つの授業 (Reading/Writing, Listening/Speaking, Integrated Skills) がありました。

Reading/Writing ではレベルにあった教科書や小説を読む reading パートと、小論文の形式や書き方、文法などを学ぶ writing パートがありました。特に小論文の書き方は日本での英語の授業では習ったことがなかったので、少し学んだだけで writing スキルの大きな向上を実感しました。

Listening/Speaking ではいろいろな映像を見たり音声を聞き、同時にノートをとる練習をする listening パートと、ほかの生徒と話をしたり、プレゼンテーションのスキルを身に着ける speaking パートがありました。例外もあるので一概には言えないですが、日本人は特に speaking の能力が低いように感じました。もともとの能力が低かった分、2 学期間の授業で大きく伸びた分野だと思います。

Integrated Skills では、1 か月間程度で開催される 3～4 つの小さな授業の中から興味のあるもの 1 つを選び受講しました。例としては、アメリカ大統領史、リノの歴史、夢の解析などの授業がありました。これらのテーマを通じてほかの授業で習ったすべてのスキルを使いました。この授業は自分が興味のある授業を取れる反面、日本人が同じクラスに固まってしまうということもしばしば起こりました。

IELC 全体を通しての感想として、IELC は英語が母国語でない生徒が大学の学部に入るための英語を勉強する場所でもあるので、今後の生活に必要な英語以外の面も学ぶことができるので満足できるプログラムだと思います。また、広島大学の他に 2 つの大学から日本人が来ていたので、留学前に想像していた人数よりも日本人が多く驚きました。私の場合は、ほかの日本人と交流を持つことにより、英語の上達スピードが少し遅くなってしまったと感じているので、日本語と距離を置くという強い意志が大切だと感じました。

3.生活の概要に関するレポート

リノでの9か月間はインターナショナルハウスと呼ばれるシェアハウスで過ごしました。留学が決まった段階ですでに大学の寮が埋まってしまっていたので、先輩から教えて頂いたこの家に住むことを決めました。大学からは徒歩で通える距離にあるので、自転車も車も持っていない留学生にとってはとてもいい場所がありました。他の住人はいろいろな国からの留学生がほとんどで、英語の勉強に協力的なため、まだ会話に自信のなかった留学当初の自分を助けてくれるいい雰囲気の家でした。また、インターナショナルハウスは、留学生向けに多くのイベントも開催してくれるので、休日なども暇をすることなく過ごせると思います。大学周辺にはカジノがたくさんありますが、それ以外は遊ぶ場所もそれほど多くないので勉強に集中できるいい環境だと思います。

日々の勉強に関しては、授業で宿題をたくさん出されるのでそれをきっちりとしていけば必然的に実力は身につくと思います。学校の図書館が、普段は12時、テスト期間は1時までと、遅くまで開いているので宿題をしたり、本を読むには非常に快適なスペースで、実際に多くの学生が図書館を利用していました。

長期休暇中の生活について、8月～5月までの留学期間中に1か月半ほどの冬休みと1週間ほどの春休み、また授業終了後から帰国までの2週間程度の長期休暇がありました。いくつか旅行に行き、実際に街の人々と会話することができました。授業でお互いによく知っている人と話すのとは違い、現地の人に話すのと同じように話しかけられるので難しいと感じましたがいい勉強になり、助けがなく話をしなければならぬ状況から、殻を破ることができたと感じました。旅行に行くこともいいですが、特に冬休みは1か月半も休みがあるので旅行をし続けるわけにもいきませんでした。この期間は、前期に授業で読んだ小説の続きの話を書店で購入し、読んで過ごしました。本は読めば読むほど英文に対する抵抗が無くなっていくのでたくさん読んでよかったですと感じました。

金銭面に関して、留学期間中は円とドルのレートが悪かったこともあり、すべてのものが高く感じました。特に日々の食事は学内や近くの店で購入するとすごく高くつくので、できるだけ自炊するように心がけていました。ほとんどの店でクレジットカードが使えたので、普段はクレジットカードを使って支払いをしていました。特にVISAカードとMASTERカードは使える確率が高かったと感じます。

他には、アメリカは車社会なので車がないと不便でしたが、学生でも車を持っている人はたくさんいるので、友達に乗せてもらうこともしばしばありました。

留学全体を通しては、アメリカについて当初は文化の違いを少し感じましたが、すぐに慣れるぐらいの些細な違いが多かったので、暮らしやすい国だと感じました。

4.留学中の写真

